

農村振興局長賞

(有)紅小町の郷

～道の駅を中心とした地産地消、食農教育、都市農村交流の取組～

代表者： 齋藤 豊 構成員： 生産者202名、その他(団体)30名
所在地： 千葉県香取市 活動開始年月日： 平成14年8月

表彰理由

道の駅「くりもと紅小町の郷」を中心として、地域農産物の生産販売の拡大や農家の所得向上による農業振興に貢献するほか、月1回のイベントや貸し農園、体験農園等による食農教育や地場農産物の普及啓発、消費者との交流、クラインガルデンにおける地元高齢者による農業指導等による遊休農地の解消にも貢献。

取組内容

1 直売所・農産加工・農村レストラン等の取組

道の駅(直売所、レストラン)、貸し農園、体験農園、クラインガルデンを管理・運営。

リピーターをつくるため、地元産にこだわり、「新鮮、安心、安全」をモットーにした直売所を展開。市場仕入れはしないで地元中心の品揃えを貫き、農産物の売上げの8割は地元産。また、消費者ニーズに応え、新たに多品目の農産物の作付けが進み、参加農家も当初から80人増加。

直営レストランで地元食材を使った地域性のあるメニューを提供し、その食材は直売所で購入できるようにすることで、農産物の消費拡大や生産拡大に寄与。

病気に弱く栽培が難しいことから生産が減少していた「ベニコマチ」を、直売所開設以降はこの直売所でしか買えないサツマイモとして定着させ、価格も主力品種の1.5倍で販売。

草もち、太巻き寿司、芋ようかんなど地域性がある特産物に付加価値をつけ販売するなど女性起業家の育成、特産のサツマイモを干し芋に加工する新たな法人の設立。

2 消費者との交流

イベントや貸し農園や体験農園等による食農教育、地場農産物の普及啓発

道の駅を中心に、足踏み脱穀機など伝統農法、味噌造り体験等のイベントを月1回実施し、食農教育や地場特産品の普及啓発を実施。

貸し農園や体験農園(いも掘り、落花生掘り等)による食農教育の実施。

クラインガルデンにおいて地元高齢者が指導者として農業指導などを行い、地域農業への理解促進や遊休農地の解消にも貢献。

ニジマス・アユ釣り、ザリガニ園、カブトムシ園、クジャク園等を自ら整備し、直売所での購入だけでなく、都市にはない自然の中で滞在できるよう工夫。